

トーナメント	利益率	サンプル数	平均ステークス		
◆参加人数で比較					
リバイなしトーナメント	利益率	サンプル数	平均ステークス		
参加者990人以上	13.30%	412601	\$40.83		
参加者240人以上	7.25%	759227	\$59.80		
参加者240人以下(ハイパーは除外)	4.50%	73703	\$53.71		
参加人数が大きいトーナメントの方が利益率が高い。					
これは、					
・人数が多いほどレギュラーの比率が薄まる					
・人数が多いと実質手数料が安くなる					
の2点が理由だと思われる。					
(※たとえば、勝者総取りのヘッズアップトーナメントを開催したとする。参加費 \$10+1で2人集まった場合と、4人集まった場合では手数料額は同一であるものの、実質的に後者の方が安くなる。なぜならば、後者は「手数料無料で 2回戦目がプレイができる」からだ。なので基本的には参加人数が多いほうが手数料が実質上安くなる。)					
◆ストラクチャで比較					
リバイなしトーナメント	利益率	サンプル数	平均ステークス		
ノーマルスピード	10.90%	272178	\$43.16		
ターボ	4.90%	459141	\$44.38		
ハイパーボ(サテライトは除外)	11.30%	87531	\$47.34		
他サイトでノーマルとターボの利益率を検証したところ、2%ほどしか差がないとの結果が出ていた。					
たしかに「全ノーマルスピードトーナメント」vs「全ターボ」で比較すると利益率にあまり差がなかった。					
しかしこれは、ノーマルの方が比較的高いステークスのものが多いこと、利益率が非常に高い					
2xターボや3xターボも組み込まれることでターボの利益率を押し上げたためと考えられる。					
条件を揃えて比較したところ、5%程度のROIの違いが出た。					
ハイパーターボのROIが高いのは手数料が2%と非常に安いいためと考えられる。					
リバイ・アドオンありトーナメント					
リバイ・アドオンありトーナメント	利益率	サンプル数	平均ステークス		
ノーマルスピード	28.32%	144089	\$72.86		
ターボ	21.93%	73624	\$82.22		
リバイありの方が明確に収益率が高い。					
リバイ・アドオンによって手数料比率が薄まること、アドオン時にチップを割増で貰えること、					
(リバイしないつもりで)安い金額からでも参加できるため、弱いプレイヤーも参加しているためと考えられる。					
3x、2xターボトーナメント					
	利益率	サンプル数	平均ステークス		
3xターボトーナメント	62.13%	30280	\$28.60		
2xターボトーナメント	57.85%	38157	\$25.13		
3x、2xターボトーナメントは極めて利益率が高い。					
◆メジャートーナメントで比較(サンプル数が少なめなので参考程度)					
	利益率	サンプル数	平均ステークス	参加人数	

トーナメント	利益率	サンプル数	平均ステークス		
サタデースーパーノックアウト	20.28%	1998	\$308.00		
サンデーミリオン	65.98%	3987	\$200.00	5000人	
サンデーウォームアップ	11.35%	3969	\$200.00	2500人	
サンデー500	-8.82%	2347	\$500.00	648人	
サンデー2ndチャンス	29.56%	3123	\$200.00	1000人	
サンデー6MAX	16.57%	2738	\$150.00	700人	
サンデーキックオフ	1.23%	2233	\$100.00	1600人	
サンデーリバイ	30.05%	2619	\$304.35	636人	
サンデースーパーソニック	6.32%	2769	\$210.96	1500人	
プログレッシブSKO	12.14%	27111	\$68.37		
Pocket Fivesで似たような検証がありました。					
http://www.pocketfives.com/articles/examining-progressive-knockouts-591316/					
The Big系(通常より参加人数が多い傾向がある)の利益率が45%となっていますが、調査対象者が					
TLBの上位者、つまり「参加人数の多いトーナメント(Big系含む)で上位入賞した人たち」なので					
Bigの利益率が高く出ているものと思われます。					
尚、本調査ではそういった偏りを避けるため調査対象者を「2012年のTLB上位者」、調査対象期間を「2013年以降」					
に設定しました。					

目的	勝ち組レギュラーはどんなトーナメントでどれぐらい利益を取れているのか？を知りたい			
調査対象期間	2013年1月1日から2015年10月25日			
対象者	以下の全てを満たす47名			
	・2012年の年間TLB上位100名			
	・シャークスコープで成績が閲覧できる			
	・対象期間で1万試合以上に出場している			
	・対象期間で黒字			
使用サイト	シャークスコープ			